

麻生津ネット



安心・安全・探索の心の基地を育てよう

冬休み明け初日、各教室の放送でなく、あえて寒い体育館に全校で集まりました。被災された方々の生活を想像する空間にしばらくでも身を置いて、どんな年にしようかみんなで考える時間を持ちました。

写真や新聞記事などをプレゼンに使いながら、二つの話題を取り上げました。一つは、今も大変な状況の能登半島地震の話、もう一つは、世界ではじめてのホログラム技術が使われる日本の新しいお札の話です。懸命に助け合う人、必死に支援する人、福井からの応援、水族館の連携などの例を示しながら、力を合わせることができること、命を大事に行動する大切さについて、皆で考えました。そして、何?なぜ?どうやって?と調べながら新しいことを取り入れ自分の世界を広げる年にしようと呼びかけました。

能登半島地震で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げたいと思います。大勢の皆様の大変な状況を考えながら、学級、学年で話し合い真剣に受けとめたり、学年に合わせた防災教育に発展させたりして、子どもたちの未来を拓く力につなげたいと思います。

本校の目指す「安心」「安全」は、もちろん命の尊さが全てのベースですが、それは地震の備えなどの方法だけではありません。「安心」は、ポジティブな感情を生み出すことがとても重要で、感情のベースが「安心」にある子どもは素晴らしく伸びやかに成長してくれます。「安全」は、生じてしまうネガティブな感情をどうするか、どんな言動でバランスをとるかが重要で、しなやかに生きる「レジリエンス」や「感情のコントロール」「自己調整」につながります。困難なこと、思いどおりにならないことに会ったとしても、もうダメだと抱え込まず、人を攻撃するのではなく、何とか自分なりに前に進めようとする力を育てたいと思うのです。

子どもの心の基地として、もう一つ大事なものが「探索」です。自分なりの願い、目標、目的を抱けること、対象のもの・ことと関わろうとする力がもとになります。自分なりに手探りでも追い求め、さらに、誰とどんな関係性を築いていけるか、どう自分に取り込むことができるかを意識して支援していきたいと思います。

3つの基地を子どもたちの心に育てながら、令和6年の子どもの姿と出来事を一層真摯に受けとめ、学校生活を充実させていきます。本年もご支援の程、どうぞよろしくお願いいたします。

2月 下校時刻の変更

5日(月)委員会 5・6年 15:10下校
26日(月)クラブ 4～6年 15:10下校

※下校時刻は、大雪時などで急な変更もございます。

予めご了承ください。

2月の行事予定

5日(月)委員会

6日(火)わくわく交流デー

15日(木)にこにこ交流会

21日(水)6年生にエールを送る会

家庭地域学校協議会

26日(月)クラブ 集金日

28日(水)町内子ども会

〈麻生津小学校ホームページ〉

児童の日々の活動以外にも、1月は、「ふるさとCM大賞」奨励賞受賞の話題や福井県防災安全部県民安全課からのお知らせを掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

asozu-e.sub.jp

